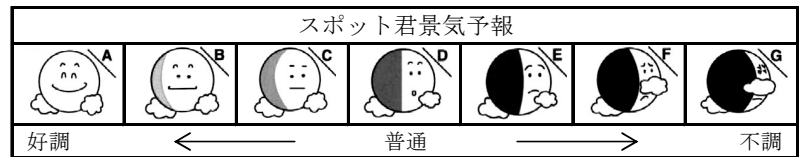


2. 目黒区内中小企業の景況（平成23年10月～12月期）

（1）今期の特徴点



製造業



製造業の主要指標をみると、業況は $\Delta 28.9$ で前期比11.9ポイント増と大幅に改善した。売上額は $\Delta 23.4$ で13.0ポイント増、収益は $\Delta 24.3$ で9.6ポイント増とともに改善した。受注残は $\Delta 20.9$ と10.6ポイント増加した。来期の見通しについては、売上額、収益、受注残はいずれも若干改善し、業況もかなり改善する見込み。

価格動向については、販売価格は $\Delta 12.2$ で4.4ポイント増と下降幅が縮小し、原材料価格は5.5と前期並の上昇で推移した。在庫は $\Delta 4.2$ と前期並の不足感が続いた。来期の見通しについては、販売価格はさらに改善し、原材料価格は今期並の上昇が続くとみられる。在庫は今期並の不足感が続く見込み。

資金繰りは $\Delta 21.7$ と窮屈感が若干緩和し、借入難易度は $\Delta 8.7$ と前期並の厳しさが続いた。借入をした企業は20.8%で2.4ポイント増加した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は9.3%と前期並であった。来期の見通しについては、資金繰りは苦しさやや強まり、借入をする企業は減少する見込み。設備投資を実施する企業は今期並と予想されている。

経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」で51.5%となった。次いで2位は「同業者間の競争の激化」と「利幅の縮小」でともに39.2%となった。

重点経営施策では、1位は「経費を節減する」で72.2%となった。次いで2位は「販路を広げる」で62.9%となった。

卸売業



卸売業の主要指標をみると、業況は $\Delta 31.3$ となり8.2ポイント増と大きく改善した。売上額は $\Delta 24.5$ で2.9ポイント増、収益は $\Delta 30.1$ で5.6ポイント増といずれも改善した。来期の見通しについては、売上額、収益はともにやや改善して、業況は大きく改善する見込み。

価格動向については、販売価格は $\Delta 3.8$ と前期同様の低下基調で推移し、仕入価格は14.4で4.2ポイント増と上昇傾向を強めた。在庫は $\Delta 1.4$ と適正範囲に保たれた。来期の見通しについては、販売価格は好転し、仕入価格は今期並の上昇が続くと予想されている。在庫は適正範囲から品薄へと推移する見込み。

資金繰りは $\Delta 23.9$ で6.0ポイント増と改善した。借入難易度は4.6で12.1ポイント減となった。今期借入をした企業は17.9%で2.8ポイント減となった。来期の見通しについては、資金繰りは窮屈感が緩和し、借入をする企業は減少するとみられる。

経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」で60.7%となった。次いで2位は「同業者間の競争の激化」で42.9%となった。

重点経営施策では、1位は「経費を節減する」で60.7%となった。次いで2位は「販路を広げる」で57.1%となった。

小売業



小売業の主要指標をみると、業況は $\Delta 24.0$ で9.5ポイント増と改善した。売上額は $\Delta 21.5$ で3.0ポイント増とやや改善し、収益は $\Delta 24.0$ で4.0ポイント減と悪化した。来期の見通しについては、売上額、収益はともに大きく改善し、業況も大幅に改善する見込み。

価格動向については、販売価格は $\Delta 7.8$ で5.5ポイント増と下降傾向が改善し、仕入価格は13.4で19.2ポイント増と厳しい状況に転じた。在庫は10.9で7.4ポイント増と過剰感が強まった。来期の見通しについては、販売価格はさらに下降傾向が改善し、仕入価格は今期並の上昇が続き、在庫は過剰感がやや緩和するとみられる。

資金繰りは $\Delta 12.6$ で10.2ポイント増と窮屈感が緩和した。借入難易度は2.8で2.3ポイント減となった。借入をした企業は8.9%で4.1ポイント減少した。来期の見通しについては、資金繰りは今期並の苦しさが続き、借入をする企業はやや増加するとみられる。

経営上の問題点については、1位は「売上の停滞・減少」で60.0%となった。次いで2位は「大型店との競争の激化」で31.1%となった。

重点経営施策では、1位は「経費を節減する」で53.3%となった。次いで2位は「品揃えを改善する」で46.7%となった。

サービス業



サービス業の主要指標をみると、業況は $\Delta 33.8$ と前期同様の厳しさが続いた。売上額は $\Delta 28.0$ で7.7ポイント増、収益は $\Delta 21.7$ で10.7ポイント増とともに改善した。来期の見通しについては、売上額は改善し、収益は今期並の減少が続き、業況は今期並の厳しさが続く見込み。

価格動向については、料金価格は $\Delta 13.5$ で6.4ポイント減と下降幅が拡大し、材料価格は0.3で12.6ポイント減と上昇が弱まり落ち着きを見せた。来期の見通しとしては、料金価格は今期並の下降が続き、材料価格は下降に転じ好感が出るとみられる。

資金繰りについては、 $\Delta 17.1$ で15.6ポイント増と窮屈感がかなり緩和した。借入難易度は $\Delta 9.1$ で15.9ポイント増加し、借入をした企業は13.6%で2.0ポイント減少した。来期の見通しについては、資金繰りは今期並の厳しさが続き、借入をする企業は減少すると予想されている。

経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」で64.4%となった。次いで2位は「同業者間の競争の激化」で46.7%となった。

重点経営施策では、1位は「経費を節減する」で53.3%となった。次いで2位は「販路を広げる」で37.8%となった。

建設業



建設業の主要指標をみると、業況は $\Delta 50.1$ となり11.9ポイント減と大幅に悪化した。売上額は $\Delta 27.1$ で13.9ポイント増と大きく改善し、収益は $\Delta 33.3$ と前期並の減少が続いた。施工高は $\Delta 24.9$ と5.9ポイント増、受注残は $\Delta 25.2$ で7.4ポイント増とともに改善した。来期の見通しについては、売上額、収益、施工高、受注残のいずれも大きく改善して、業況も上向く見込み。

価格動向については、請負価格は $\Delta 8.1$ で10.4ポイント増と厳しさが和らぎ、材料価格は19.4で9.7ポイント増と上昇傾向を強めた。在庫については1.9で12.7ポイント増と品薄から適正範囲へと推移した。来期の見通しについては、請負価格は下降傾向がやや改善し、材料価格は今期並の上昇が続くとみられる。在庫は適正水準からやや過剰に推移する見込み。

資金繰りについては、 $\Delta 17.0$ で4.0ポイント増と厳しさが和らいだ。借入難易度は $\Delta 24.2$ で10.7ポイント減少し、今期に借入をした企業は25.6%で3.7ポイント減少した。来期の見通しについては、資金繰りは苦しさがやや強まり、借入をする企業は減少するとみられる。

経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」で61.5%となった。次いで2位は「同業者間の競争の激化」で59.0%となった。

重点経営施策は、1位は「販路を広げる」と「経費を節減する」でともに66.7%となった。次いで2位は「情報力を強化する」で33.3%となった。

各業種別業況の動き（実績）と来期の予測

